

平成26年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 特定非営利活動法人 日本水フォーラム		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 寺岡貴司
代表者氏名 代表理事 竹村公太郎		日本水フォーラム マネージャー (TEL) 03-5645-8040 (FAX) 03-5645-8041
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
部門名 広報	部門 部門	事例名 啓発・PRイベント 防災を通じて社会インフラの重要性を考える 「SAVE THE ちびっこ - みんなの防災ミーティング」

<概要>

日 時：平成26年3月10日（月）11：00～17：00
 主な対象：現在と未来のパパとママ
 その他詳細：別添（エントリーシートフルサイズ版）を参照



<本事業の目的>

私たちの暮らす日本では、インフラはもはや「あって当たり前」であり、そのためかインフラに係る議論は、どこか「他人ごと」ととらえられがちです。

しかし、私たちの日本は、東日本大震災に見られるように、先進国となった現在でも「インフラのない世界」を経験した、そしてまた経験する可能性のある数少ない国です。

さらに、施設の老朽化、そして人口の減少が進む現代の日本において、「あって当たり前」と思われてきたインフラのあり方に、今、根本的な見直しが求められています。

そこで、誰もが看過することのできない「被災時に自分と大切な人の命を守る」ということ、そして「海外の衛生問題の実情を訴える」ことにより、間接的に我が国のインフラを浮き上がらせ、日常意識されることのない下水道インフラの重要性を、改めて「自分ごと」として感じていただく啓発・PRイベントを実施いたしました。

<本事業の特徴と企画にあたって留意したこと>

- ・メッセージの受け手目線を重視したプログラム構成（参加者の関心の下水道への誘導）
- ・下水道事業そのものに関心が低いと思われる対象に対する新しいPR手法の開発
- ・新たな視点での下水道界のサポーター作り（国際協力に関心を持つ大学生の他、これまで下水道界からのメッセージが十分に届いているとは思えない「ギャルママ」達を未来の下水道サポーターに）
- ・NGO/NPOへ期待される社会的役割（行政補完機能）の遂行



(左) レゴブロックを使った親子向けワークショップ。東日本大震災被災ママがインフラの重要性をメッセージ
 (中) プロマジシャンの協力によるシアター型セミナー（防災劇場）
 (右) イベントに協力いただいた東洋大学の国際協力サークルメンバー